

組織現勢 (11月1日現在)

組合員数 20,072人  
 出資口数 127,529口  
 9・10月の新規加入 38人  
 9・10月の増資口数 260口

No. 414 再生紙を使用しています。

# 城南の保健

発行所  
**城南保健生活協同組合**  
 本部事務局 大田区大森東4-6-15-101  
 TEL (3762) 0266  
 振込銀行 さわか信用金庫大森支店  
 口座(普) 0469459  
 発行 「城南の保健」編集委員会  
 年8回発行・価額1部 30円

## 今年はお天気、おまつり日和 健康まつりに3500人来場



最後はみんなで品川音頭を踊りました

### 第34回 大田・品川健康まつりのお礼

10月28日(日)に行われた『第34回大田・品川健康まつり』は、一昨年に引き続き、品川区の戸越公園で開催しました。当日は天候にも恵まれ滞りなく準備も進み、要員の皆さまのご協力によって開会できました。入場者数も3500人を超え、大成功をおさめることができました。実行委員会への参加ならびに、賛助券の普及等準備の段階からご尽力いただいた皆さま、また当日の要員の皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。テントなど備品をお貸しいただきました皆さまにも感謝申し上げます。

10月28日(日)に行われた『第34回大田・品川健康まつり』は、毎年恒例のアメリカ＆フラダンスのフラダンスにはじまり、マジシャンこうじさんのマジック、品川コカリナアンサンブルのコンサート演奏、とちの実作業所の合唱、南部合唱団の合唱、初出演の立花ふみのさんの演歌、荏原ユニオンエイサー隊、なかよし会のハーモニカ演奏、フェアトレードによるバンド演奏、チームの踊りと今年もたいへん盛り上がりしました。最後は品川音頭を会場の皆さんと踊り、大いに盛り上がりしました。出演していただいた皆さまありがとうございました。

た。健康チェックコーナーには250人を超える方においでいただきました。検査技師会のご協力で初めて取り組んだ物忘れプログラムや血管年齢測定も盛況でした。「子どもの広場」もたくさん親子連れで賑わいました。よろず相談コーナーも相談員や東京南部法律事務所の皆さんにもご協力いただきました。ご感想、ご意見やご要望などがありましたら、実行委員会事務局までお寄せ下さい。第34回大田・品川健康まつりへのご参加、ご協力本当にありがとうございました。



会場をエイサー隊が練り歩きました

## 秋の仲間増やし月間 10月1日～12月28日まで 月間目標630人 (年間目標の90%)

き組合員を増やす取り組みをお願いいたします。お知り合いやご家族に城南保健生協への加入をすすめてください。

### 増資のご案内

●城南保健生協では健康なまじづくりのために、健康増進活動をより充実させていきます。ぜひ、増資にご協力をお願いします。

●増資(1口=1000円)は、プラスしてお金を預けていただくシステムです。

●皆さまからお預かりした出資金・増資は、生活協同組合法にもとづき、生協の運動、事業を行っていく上での運営資金となります。

●出資金・増資に利息は付きませんが、生協を脱退するときには返却されます。

●お手続きの方法・城南保健生協

本部事務局に直接ご連絡いただくか、生協理事や支部役員協力医療機関を通してお手続きください。ご不明な点は生協本部(3762-1026)まで。

### 事務局からのお知らせ

#### お知らせ

- ① お引越など、住所の変更がありましたら、生協本部まで連絡をお願いします。
- ② 城南保健生協を脱会、または減資するには、死亡の場合を除き、4月1日～12月31日までに申請をお願いします。また、申請がありました減資、脱会による返金は年度末終了後、4月の返金となります(生協法第19条第1項及び定款10条第1項の規定により1月～3月の期間は申請できません)。



さまざまな出演者で中央舞台も華やかに (とちの実作業所の合唱)



出店ブースも大賑わい



健康チェックも盛況 (歯科チェック)

健康まつり福引き当選番号は2面に掲載

## 腹八分

今年「明治150年」に当たる年です。政府は「明治の精神に学び、日本の強みを再認識すること」を中心課題に、政府・自治体・民間団体を動員してキャンペーンを繰り広げています。かつて半世紀前にも「明治百年」キャンペーンが、政府・支配層を中心に叫ばれたことがありました。明治を文明の夜明けのように描き、西欧に列する強国に成長したことを賛美するものでした▼「明治百年」の1970年代前後は、国内で学生運動、労働組合運動が勢いを増した時期であり、日本の財界や保守勢力には危機感が漂っていました。その反転攻勢としての「明治百年」キャンペーンでもありました。明治政府は封建の世から国民を解放し、工業も発展させたという一面を持ちますが、あいかわらず大多数の国民は貧困にあえぎ、女性の地位はさらに劣悪でした。近隣のアジアの国々にも、武力を背景に欧米列国にならって、植民地主義の道を歩み、後年敗戦という惨禍に国民を導いたのです▼明治憲法では、国民は天皇の臣民でしたが、敗戦によって「主権は国民にある」という人間本来の姿を憲法に明記させました。再び海外に軍隊を送らないという平和の誓いも憲法で定めたのです。「明治150年」キャンペーンの発信元には、不戦の誓い、国民主権を認めようという勢力の姿が見えてきます。今の内閣の閣僚のほとんどが、その勢力の主要人物たちです。相次ぐ失言やゴマカシが、この勢力の実態を物語っています。